



おかげさまで1周年：レポート作成応援特集号

図書館ニュース

- こんな資料が入りました：
- 新着図書展示中です 1
 - レポート作成応援特集：資料集めのツボ！ 2-3
 - 携帯電話「図書館ミニアンケート」結果報告 4-5
 - 電子ジャーナルQ & A 5
 - 本のかたちBOOK STRUCTURE展 6
 - ALC NetAcademyでTOEICの学習をしよう 6
 - 創刊1周年によせて 6

レポート作成応援特集：資料集めのツボ！

いつのまにかもう12月。後学期もいよいよ終盤戦に入ってきた。皆さんは、レポートを作るとき、課題などの調べ物があるとき、どうやって資料を集めているだろうか？興味のあるテーマについて、あるいは人物について、どんな風に資料を探せるか。この特集では、Googleだけで終わらない、資料集め、情報集めの“ツボ”を、まとめてご紹介。ぜひトライを！

[詳しくは2ページからの特集記事へ→](#)

こんな資料が入りました：新着図書展示中です

寄贈された図書を中心に、約80冊の資料を受入れました。1階エレベーター横に、新着図書コーナーを設け展示しています。今回は楽しい視聴覚資料もたくさん入りました。ぜひご利用ください。

【CD】

VISION' D VOICE ～創り手たちの声シリーズ～ (CD||20060003||7-7)

田中一光・モンキーパンチ・原研哉など、時代を担ってきたデザイナーや陶芸家、漫画家たち、創り手の生の声が聴けるCDです。インタビューアーとの対談形式で進められ、創作活動に限らず、生活スタイルや考え方も垣間見られるような、楽しく興味深い内容です。

【DVD】

National Geographic 不思議な動物マダガスカル他 (DVD||20060013||2-ナ)

おなじみNational Geographic のDVD版。かけがえのない自然の姿に目をむけてみませんか。

【図書】

すぐわかる日本の伝統文様 (750.8||Su49) 並木誠士先生の著書・寄贈資料です
 東山／京都風景論(216.2||H55) 中川理先生、並木誠士先生の著書・寄贈資料です
 美術館の可能性 (706.9||B42) 中川理先生、並木誠士先生の著書・寄贈資料です
 英語を学ぶ人・教える人のために (830.7||H42) 羽藤由美先生の著書・寄贈資料です

新着資料を探すには？

新しく図書館に入った資料だけを探すには、OPAC検索画面左端の「新着案内」ボタンをクリックしてください。プルダウンメニューで“月”を選ぶと、その月に入った資料のみを検索することができます。それぞれのタイトルをクリックすると、配架場所や貸出状況が確認できます。



新着資料だけを探すには
OPAC「新着案内」から

図書館ニュース

ツボ1:本を探すには？

レポート作成応援特集:資料集めのツボ！

レポートや調べ物に役立つのはやはり「本」だろう。まずは、興味のある事柄についてどんな本が出版されているのか、いろいろ探してみよう。

工繊大の本を探そう・・・OPAC

工繊大図書館の本を探すツールは、「OPAC」(<http://opac.lib.kit.ac.jp/>)。書名、著者名などから検索できる。ブックマーク機能など充実している上、自分で貸出予約もかけられるスグレモノだ。まずはこれを試してほしい。とりあえず、思いついた言葉を「キーワード」フィールドに入れて検索してみよう。詳しい使い方は、画面右上の「利用方法」ボタンや、検索画面左下の「OPACの使い方」リンクから参照できる。

工繊大にない本も探そう・・・Webcat Plus

OPACでめぼしい資料がなかったら？そんなときは、**Webcat Plus** (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>) を使ってみよう。全国の大学図書館が共同で作る目録データベースで、「どんな本があるか？」「どの大学が持っているか？」を調べることができる。また、目次や、本の内容についても書かれ、「どんな本か？」がすぐ分かる、文献集めにはうってつけのツールだ。「連想検索」機能を使ってフレーズや文章からも本が探せるのもうれしい。(ただし、ヒット件数はやたらと多い。うれしい悩みだが・・・)シンプル画面の**Webcat** (<http://webcat.nii.ac.jp/>) もおすすめ。



工繊大の資料を探す、OPAC(上)と、全国の大学図書館の本を探す Webcat Plus(下)の画面。

ツボ2:雑誌記事・論文を探すには？

レポート作成応援特集:資料集めのツボ！

「雑誌」といって、あなどるなかれ！雑誌にはおなじみの週刊誌やファッション誌の他、業界誌、専門誌など、いろいろな種類があり、「本」よりも細かなテーマについて、掘り下げて書かれた記事・論文が載っていることが多いのだ。有用な情報源、「雑誌記事・論文」にも、ぜひ挑戦してみよう。

日本の雑誌論文を探そう・・・CiNiiとJStage

是非使ってほしいのは、「**CiNii**」(<http://ci.nii.ac.jp/cinii/servlet/CiNiiTop#>)だ。人文社会系から理系まで、国内発行誌の雑誌論文、約1000万件のデータが検索できる。検索方法も簡単で、キーワードや著者名から検索でき、年代での絞り込みなども可能だ。

また、科学技術関係では、「**J-stage**」(<http://www.jstage.jst.go.jp/>)が充実している。学会予稿

集などのデータも豊富で、キーワードや著者名から簡単に検索できる。

CiNii、J-Stageどちらもフルテキストへのリンクがあれば、本文をすぐに読むこともできる。学術論文中心なので最初はとっつきにくく感じるかもしれないが、「本」からは得られない情報が見つかることは間違いがない。

その他の情報を探するには・・・

また、雑誌ではないが白書、年鑑、統計類は、インターネットで公開されていることが多いので、ぜひチェックしてみよう。「**電子政府の総合窓口**」(<http://www.e-gov.go.jp/>)に、各種統計へのリンクがあり、自由に利用できる。このような「ファクトデータ」を入れたら、ひと味違ったレポートになること、間違いなし！



CiNiiは、様々な学術情報の統合検索サービス、GeNiiの一部。機能をフル活用するには、学内LAN経由でアクセスしよう。

ツボ4:好評実施中！日経BP記事検索サービストライアル

レポート作成応援特集:資料集めのツボ！



日経BP記事検索サービスマスコットの「キジケン」君。

好評実施中の「日経BP記事検索サービス(略称キジケン)」トライアル (<http://bizboard.nikkeibp.co.jp/daigaku/>)、もうお試しいただろうか。これは、日経BP社発行の約40誌の記事がPC上で利用できるサービス。レポート、卒論の資料に、就職活動の情報収集に、社会・経済動向の把握に、かなり「使える」コンテンツだ。

ビジネス、PC、電子・機械、建築・土木、サービス

等に関する雑誌が利用できるほか、パソコンスキルアップ講座、ビジネスキーワード、業界動向ウォッチなど、大学生として、社会人のタマゴとして、必須の情報が満載。このサービスは、期間限定のトライアル(お試し利用)なので、この機会を逃さずフル活用してほしい。

トライアル期間:12月22日(金)まで
利用は学内LANに接続されたPCから

ツボ5: 新聞記事を探すには？

レポート作成応援特集: 資料集めのツボ！



シンプルで使いやすい、
聞蔵II(きくぞうツー)の検索画面。
戦後からの朝日新聞記事などを
検索できる。

時事問題や過去の出来事を知るのに、新聞も不可欠な情報源だ。就職活動のためにも、ニュースはきっちり押さえておきたいもの。

図書館で新聞を読もう

図書館には11紙の新聞を置いている。(主要全国紙の他、京都、日経、日経産業、日経流通、日刊工業、英字新聞など。)図書館に来たら1階中央の新聞コーナーをまずチェックする習慣をつけてほしい。新聞原紙は1年間保存しているほか、朝日新聞の縮刷版も置いている。

朝日新聞記事データベースを使う

また、朝日新聞の記事データベース、「**聞蔵(きくぞう)II ビジュアル**」が利用できる。1945年から当日までの記事全文が原紙のイメージ*1で読める上、「アエラ」や「週刊朝日」の記事*2、「知恵蔵」データも収録。過去の事件や事件の経過が

検索可能。ぜひ試してみよう。ただし、利用は学内LAN経由で、図書館HPにある、ログインボタンからログインしよう。ログインボタンは、次のURLから。

(<http://www.lib.kit.ac.jp/kensaku/database/index.html#dna>)

*1:一部記事は、テキストデータのための提供。

*2:テキストデータのための提供。

インターネットでニュースを読もう

新聞の概念からは少し外れるが、最新情報を得られるのがインターネットニュースの強み。各新聞社の配信するインターネットニュースのほか、Yahoo News (<http://headlines.yahoo.co.jp/>) や Google News (<http://news.google.co.jp/>) なども便利。好みのニュースを見つけておくのもいいだろう。ただし、ソース(どの新聞社の記事か)は、忘れず確認を！

ツボ6: 工織大にない資料を手に入れるには？

レポート作成応援特集: 資料集めのツボ！

いろいろな資料集めのツボを紹介したが、さて、読みたい資料が工織大になかったら、どうすればいいだろう？実は、次の2つの方法で、資料を手に入れることができるのだ。

直接訪問する

目当ての資料がはっきりしていれば、他大学の図書館を利用させてもらうことができる。予約が必要なので、工織大図書館で申し込もう。

複写物の取り寄せ・現物の借用

必要な資料は、他の図書館からコピーを取り寄せることができる。また、現物を郵送によって借

り出すことも可能だ。(いずれも実費は申込者負担。)工織大図書館で申し込もう。

ネットワークであなたをサポート

図書館は一つではない。日本では、大学図書館はもちろん、国立国会図書館や場合によっては研究機関図書館や公共図書館まで、さまざまな図書館との、大規模なネットワークが形成されている。このネットワークのどこかに、必ずあなたの必要な資料があるはず。まずは、工織大図書館のカウンターで気軽に尋ねてみてほしい。



日本中の図書館と
つながっています！



資料に始まり、資料に終わる
検索同様、現物を見ることも大事！

最後のツボ: そして資料を読もう

レポート作成応援特集: 資料集めのツボ！

資料集めから、資料入手まで、探す方法、手に入れる方法は、いろいろある。検索のコツは、「あきらめないこと」「いろいろ試すこと」。うまくヒットしなくても、検索に用いるキーワードや視点を変えて試してみれば、意外にうまくいくものだ。また、一番大事なものは、やはり「読む」こと。本を読めば、章末や巻末に参考文献リストがついていたり、著者の作品リストがついていたり、意外に役立つ情報が載っているも

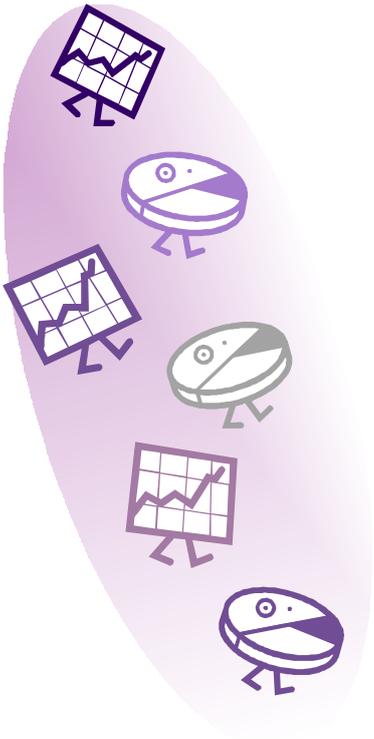
の。雑誌論文にも、たいいて引用文献など関連情報が載っている。まずは、読もう。読めば新しいキーワードや、新しい切り口がきっと見つかることだろう。そして、新しい視点からの資料集めをしてほしい。また、時には図書館に足を運んで、本をぶらぶらと眺めてほしい。OAPCなどで検索するのももちろん必要だが、「となりの本」から思わぬ発見をすることも、少なからずあるのだから。

図書館ニュース

携帯電話「図書館ミニアンケート」結果報告

7月21日から31日にかけて、学生の皆さんを対象に携帯電話「図書館ミニアンケート」を実施しました。このほど、集計および分析を終え、図書館ホームページに掲載しました。ぜひご参照ください。(URL:<http://www.lib.kit.ac.jp/pdf/keitaienq.pdf>)

アンケート結果については、今後の図書館運営に、ぜひ反映させていきたいと考えています。ご協力ありがとうございました。ここでは、ダイジェスト版を掲載します。



アンケート調査の概要

実施日: 7月21日～31日

実施方法: 携帯webサイトから回答。

当館携帯サイト及び、学務課webサイトからリンクでジャンプできるように設定
なお、回答は1人1回しかできないようシステム上制限をかけた。

対象: 本学学生

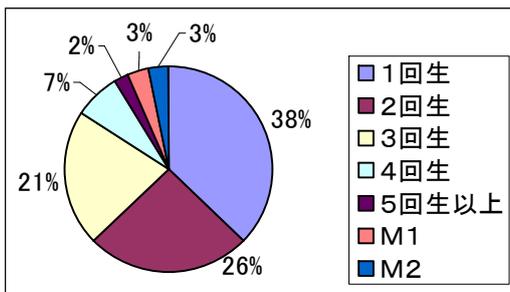
回答数: 94

質問項目: 学年・所属、図書館の利用頻度、および次の12の項目。

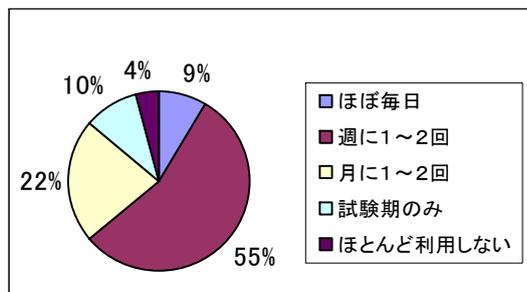
- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 閲覧席数 | 2. グループで研究・学習できるスペース |
| 3. 自習できるスペース | 4. アメニティゾーン(1階ロビー)の環境 |
| 5. 館内に設置されているPCの台数 | 6. 図書館の居心地 |
| 7. 学習・研究のための図書 | 8. 教養・娯楽的図書 |
| 9. 学術雑誌(電子ジャーナルを含む)の種類 | 10. 新聞の種類 |
| 11. 図書・雑誌の配置・配架 | 12. 図書館のホームページ |

評価: 12の項目について、1～5の5段階で評価。(1が最低、5が最高)

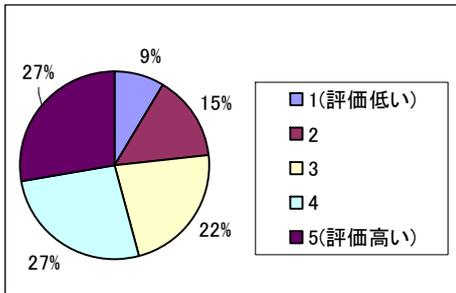
回答結果抜粋



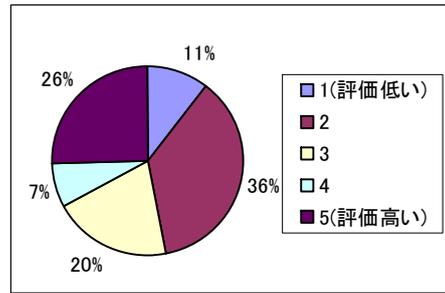
グラフ1: 回答者の学年
1回生が最も多く、学年が上がるにつれ少ない傾向があった。



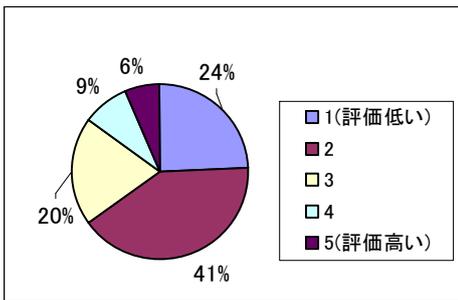
グラフ2: 図書館の利用頻度
週に1～2回という回答が最も多く、図書館が学生生活に根付いた施設となっていることがうかがわれる。



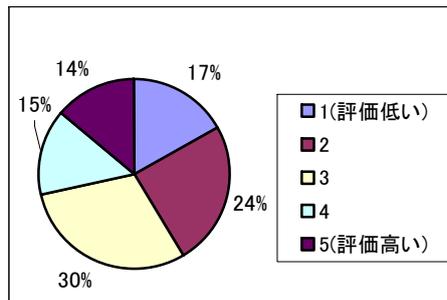
グラフ3: 図書館の居心地
評価点3以上の回答が多く、館内環境は良好と思われる。



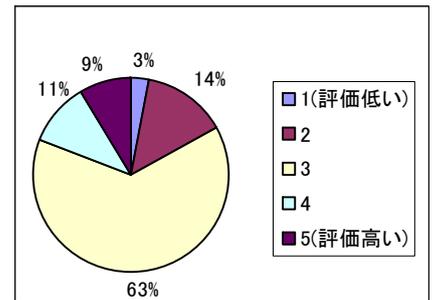
グラフ4: グループで研究・学習できるスペース
評価点1-2が多く、満足度が低い。「自習できるスペース」も同様に評価が低かった。



グラフ5: 館内に設置されているPCの台数
満足度は低い。機器導入、スペース確保などクリアすべき課題は多い。



グラフ6: 学習・研究のための図書
評価は1-3が多く、満足度はやや低め。「教養・娯楽の図書」については不満度がさらに高い。



グラフ7: 図書館のホームページ
可もなく不可もなく、というところ？ 図書館の顔として、洗練されかつ実用的なページへの再構築を目指したい。

電子ジャーナルQ&A

電子ジャーナル利用について、よくあるご質問を、まとめて掲載します。

Q.「Nature」の電子ジャーナルを見ていたら、2006年の論文は利用できたのに1996年のものは利用できません。なぜですか？

A. 電子ジャーナルの契約は、1年単位で行うものがほとんどです。また、何年前までの論文（フルテキスト）にアクセスできるかは、出版社によって異なります。多くは、過去5年、または10年分の論文が利用できますが、それ以前の論文は利用できません。また、契約を中止した場合、過去の論文は利用できますが、最新の論文は利用できないこともあります。電子ジャーナルindexの各タイトルの後に、(Nature)、(Springer)など、出版社名を書いたリンクがあります。これをクリックすると、出版社ごとの簡単な利用条件が参照できます。

Q.図書館ホームページの「電子ジャーナルindex」に載っていないのに、フルテキストが利

用できるジャーナルがあるのはなぜですか？

A. 「電子ジャーナルindex」には、図書館が契約している電子ジャーナルを載せています。電子ジャーナルの中には、オープンアクセスとよばれ、誰でも無料で自由にアクセスできるものもありますが、タイトルの把握が難しいため、電子ジャーナルindexには載せておりません。indexに載っていないけれども、めぼしい電子ジャーナルがあれば、とりあえずフルテキストへのリンクボタンをクリックしてみてください。特に学会系のジャーナルなどは、利用できる場合もあります。

Q.電子ジャーナルが利用できなかったら、その文献は入手できないのですか？

A. そんなことはありません。たとえば、「Nature」の場合、1924年のものから最新号まで、冊子を図書館で所蔵しています。必ずOPACでも検索してみましょう。また、冊子でも所蔵のない場合、他の図書館からコピーを取り寄せることもできます（実費必要）。カウンターでお尋ねください。



図書館ホームページのABCindex

“本のかたち－BOOK STRUCTURE” 展 図書館3階で開催



「本のかたち－BOOK STRUCTURE 紙は今－2006 vol.2」展が、図書館3階を会場に開催されます。電子メディアの出現により変革を迫られる“紙”と“本”。世界的に注目される、BOOK ARTの視点から、斬新で多様な本のかたちをお楽しみください。

図書館での展示は次の通り行われます。

開催中～12月2日(土) 10:00AM～5:00PM

図書館での展示終了後、12月5日(火)よりギャラリー テラ(寺町二条下がる)でも展示があります。また記念講演会が12月9日(土)に開催されます。

詳しくは館内配布のポスターおよび大学ホームページをご覧ください。

(URL:<http://www.kit.ac.jp/01/topics/2006/kami061120.html>)

ALC NetAcademyでTOEICの学習をしよう

「ALC NetAcademy」は、学内のPC環境であれば、いつでも、どこでも、ご自分のペース、レベルに合わせてTOEICの学習ができるオンライン型学習システムです。

「ALC NetAcademy」を利用して、TOEIC高得点を目指しましょう！

学内LANに接続されているPCから利用できます。静かに学習できる遠隔学習室(図書館3階)もご利用ください。

URL <http://netacademy.campus.kit.ac.jp/n-acad/bin/le/wletop.asp>

!!ブラウザは、Internet Explorerを使用してください

!!ご利用には、アカウントとパスワードが必要です

※1 学部生の方は…

既に学内メールアドレス宛に配信済みです。

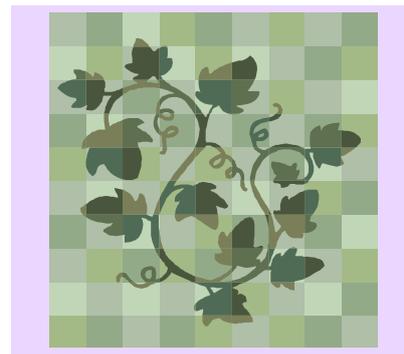
※2 大学院生及び、

アカウント、パスワードを紛失された方は…

学生証をお持ちの上、図書館1階カウンターまでお越しください。(受付時間:平日9-17時)

おかげさまで1周年…

昨年11月にリニューアル創刊した図書館ニュースも、おかげさまで1周年を迎えました。学生の皆さんを中心に、教職員のみなさまにもお楽しみいただける記事となるよう心がけていますが、いかがでしょうか。こんなことが知りたい、こんな記事を書いてほしい、そんなご意見もぜひお寄せください。これからも楽しく読んで頂けるニュースを目指して発行します。どうぞお楽しみに。



図書館ニュース 第7号 平成18年11月29日発行(隔月刊)
発行：京都工芸繊維大学附属図書館

「知への探検」・「知と遊ぶ」基点によるこそ… 京都工芸繊維大学附属図書館

Tel. 075 (724) 7191

E-mail uli7191b@jim.kit.ac.jp

<http://www.lib.kit.ac.jp/>

(開館カレンダー、お知らせ、利用方法)

<http://opac.lib.kit.ac.jp/>

(蔵書検索、予約、利用状況確認)

<http://osirabe.net/opac.kit/>

(携帯サイト:お知らせ、蔵書検索、予約、利用状況確認)